春の日差しが気持ちよい季節を迎えました。みなさん、お変わりありませんか。私も「市民要求ネットワーク・ソーレ土佐」の代表として頑張っております。

「ソーレ土佐」は、立場の違いを超えた、多くの皆さんのご協力をいただきながら、市民の願いを実現させるために活動しております。

また、農民組合や労働組合のお手伝い、ヘルパー養成講座や料理教室、相談事など忙しく充実した毎日です。

今日は、「活動報告」第一号をお届けさせていただきます。あなたの「声」もお寄せください。お待ちしております。

学校給食に地元の お米や野菜を

「ソーレ土佐」は、子供たちに日本の食文化の継承をし、そして農業を守っていくために「学校給食に地元のお米や野菜を」と、一月二十一日、蓮池のコミュニティーセンターで、「土佐市の米飯給食を考える」講演会とシンポジウムを開催いたしました。講師には南国市の農業委員会から西川潔氏をお招きし、シンポディストに「ＪＡとさし」の黒岩理典氏、学校給食栄養士の高橋道子さん、ＰＴＡの田井直子さんをお願いしました。

事前に農協や各小中学校を訪問し、校長先生やＰＴＡの役員のみなさんにご協力のお願いをし、約七〇人の参加がありました。

土佐市議会でも、黒木(九、十二月)山本(三月)両議員などが、地場産米による学校給食推進の立場で質問に立ち、土佐市としても実施に向けて取り組みをはじめることになりました。

「ソーレ土佐」は去年八月に、県の園芸流通課の藤本実氏、須崎市農業委員会会長の谷本敏明氏をお招きし、「農産物の流通」について学習会を開催しました。

その後、春名なおあき衆議院議員とともに県下各地の園芸農家を視察し、輸入農産物の影響で、壊滅的な打撃を受けている農家の実情を目の当たりにしたとき、全国的な運動の必要性を肌で感じました。そこで、農民組合(西森貞男代表)とともに、全国の運動と連携し、県下で「輸入農産物にセーフガード（緊急輸入制限措置）を」の運動を展開しました。

特に須崎市での四五〇人を超える人々の集会や、全県キャラバンなどを通じて、高知県議会、県下各地の市町村（現在では、五三市町村すべて）で「意見書」が採択されたことは、全国の運動をリードし、励ましました。

政府はこうした運動に押されて、最近になってセーフガードに取り組み始めましたが、参議院選挙に向けての場当たり的なものにしてはなりません。

国の政策の中心に、「安全でおいしい農産物は日本の大地から」の声を、消費者とともに上げていくことが大切です。

主張

在宅介護手当て廃止の否決は当然

土佐市議会三月議会に「在宅介護手当て条例」の廃止案が提案されましたが、全員一致で否決されました。

この案は、市の単独事業である「手当て」を、国の「在宅介護慰労金制度」に移行させ、その財源を在宅介護支援事業に回そうというものでした。

しかし、国の「慰労金制度」には二つの大きな問題点があります。

ひとつは過去十二ケ月間、介護保険の在宅サービスを利用していないことが、支給の条件になっている点です。

ふたつ目は所得制限が適切でないことです。地方税の課税世帯は支給から排除されていますが、一口に課税世帯といっても、生活保護基準すれすれの家庭から、高額所得世帯まで含まれます。

「在宅介護手当て」を「慰労金制度」移行する場合は、これらの点を解決しなければなりません。お金が無ければ利用しづらい介護保険を、安心して利用できる制度に作り変えていきましょう。

ご案内

農業と食糧を守る県民学習・討論集会

日時　四月二十一日（土）
午後一時三〇分より
場所　朝倉・
福祉交流プラザ
講師　中島　信（徳大教授）
パネリスト
佐野俊雄（県園芸連参事）
谷本敏明（須崎農業委員会長）
雨森広志（高知県議会議員）
田頭文吾郎（高知県議会議員）
コーディネーター
大森陽子（「ソーレ土佐」代表）

「市民要求ネットワーク・ソーレ土佐」総　会

日時　四月二十七日（金）
午後五時半より
場所　蓮池コミュニティーセンター

県やみ融資事件と高知県政の今後

日時　四月二十七日（金）
午後七時より
場所　蓮池コミュニティーセンター
電話　〇八八－八五二－七九二八
講師　梶原守光県議会議員

春の日差しが気持ちよい季節を迎えました。みなさん、お変わりありませんか。私も「市民要求ネットワーク・ソーレ土佐」の代表として頑張っております。

「ソーレ土佐」は、立場の違いを超えた、多くの皆さんのご協力をいただきながら、市民の願いを実現させるために、活動しております。

また、農民組合や労働組合のお手伝い、ヘルパー養成講座や料理教室、医療生協運動等と、忙しい毎日です。

今日は、私のお便り・第一号をお届けさせていただきます。あなたからのお便りも、お寄せください。お待ちしております。

学校給食に地場産米を

「ソーレ土佐」は、一月二十一日、蓮池のコミュニティーセンターで、「土佐市の米飯給食を考える」講演会とシンポジウムを開催いたしました。講師には南国市の農業委員会から西川潔氏をお招きし、シンポディストに「ＪＡとさし」の黒岩理典氏、学校給食栄養士の高橋道子さん、ＰＴＡの田井直子さんをお願いしました。

事前に農協や各小中学校を訪問し、校長先生やＰＴＡの役員のみなさんにご協力のお願いをし、約七〇人の参加がありました。

土佐市議会でも、黒木（九、十二月）山本（三月）両議員などが地場産米による学校給食推進の立場で質問に立ち、土佐市としても実施に向けて取り組みをはじめることになりました。

催物案内

農業と食糧を守る
県民学習・討論集会

日時　四月二十一日

場所　福祉交流プラザ

講師　中島　信（徳大教授）

パネリスト

佐野俊雄（県園芸連参事）

谷本敏明（須崎農業委員会長）